

一 般 質 問 一 覧 表

平成26年第2回高梁市議会（定例）

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	3	9番 大 森 一 生	<p>1 新市発足10周年を迎えての現状と課題、その方向性について</p> <p>(1) 平成26年度予算で、「住んでよかった、住み続けたいまち高梁」を実現していくために、今後どのような施策をどのように展開していくのか。その方向性とまちの将来像について聞く</p> <p>2 市制10周年記念式典と山田方谷顕彰・啓発事業及び明治維新150周年（2018年）について</p> <p>(1) 平成26年10月に開催予定の市制10周年式典の概要について</p> <p>(2) 山田方谷の内在的論理と今後の展開、明治維新150周年について</p> <p>3 人口減少下での本市の定住促進と経済振興について</p> <p>(1) 新年度予算において、最重要課題として定住促進と経済対策を上げられているが、これまでのどの施策をどのように発展させ、どのように地域経済の浮揚を図るのか。切れ目ない積極的な取り組みとはどのようなものをいうのか</p> <p>(2) 本市の二地域住居（マルチハビテーション）、交流居住の可能性について聞く</p> <p>4 2018年問題と学園文化都市づくりと地域振興について</p> <p>(1) 2018年から18歳人口が減少し、成熟した市場の中で、大学の二極化が進むことが予測されているが、本市としてこの状況をどのように認識されているのか。また、それに対する取り組みを聞く</p>
2	9	5番 三 村 靖 行	<p>1 まちづくり対策と地域振興について</p> <p>(1) 建設業界が衰退している現状をどう認識しているのか。また、その対策を考えているのか</p> <p>(2) 市民待望の新玉川橋の完成が間近に迫っているが、備中広瀬駅利用者の利便性向上のための方策を考えているのか</p> <p>(3) 交流人口増を目指すのであれば、民間の宿泊施設を充実して滞在しやすくすることが必要と考える。そのために、市は支援策を考えるべきではないか</p> <p>2 有害鳥獣駆除の対策について</p> <p>(1) 有害鳥獣駆除許可手続きの手順を変更できないか</p> <p>(2) 野猿被害が年々増大しており、市民生活にも影響を及ぼしている。その対策をどう考えているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	1	12 番 倉 野 嗣 雄	<p>1 市営住宅事業について</p> <p>(1) 市営住宅の管理と、退出時の受け取り基準、マニュアルについて問う</p> <p>2 若者定住施策について</p> <p>(1) 昨年 12 月に市内で唯一出産可能な医療機関が分娩業務を終えられた。若者の定住に及ぼす影響をどのように考えられているのか。また、今後の対策と見通しについて問う</p> <p>3 災害と農業について</p> <p>(1) 昨年の 7 月と 9 月の集中豪雨による農地災害と個人負担について問う</p>
4	4	19 番 難 波 英 夫	<p>1 佐与谷川上流の産業廃棄物最終処分場建設阻止について</p> <p>(1) 現在の建設計画の進行状況について問う</p> <p>(2) これから市としてはどのように対応されるのか</p> <p>2 防災、防火、救急体制の充実について</p> <p>(1) 巨瀬、中井、有漢地域をエリアとする消防署の東分駐所設置を早急に求める</p> <p>3 安全・安心の農畜産物の生産と食品の供給について</p> <p>(1) 遺伝子組み換え農産物、食品に対する基本的な考えを問う</p> <p>(2) 国に遺伝子組み換え作物の種子や食品の輸入認可をしないよう求めること</p> <p>(3) 遺伝子組み換え作物栽培規制条例制定を求める</p> <p>(4) 学校給食への遺伝子組み換え食品の混入防止策はとられているのか</p> <p>4 本市の基幹産業である農業の振興について</p> <p>(1) 小規模農業生産基盤整備事業の採択要件緩和と補助率の大幅な引き上げで本市の地理的条件に合ったものとする</p> <p>(2) 農業用機械等整備事業の補助率は 3 分の 1 に引き上げること</p> <p>(3) 本市農業の発展施策を提言する専門委員会の設置を求める</p> <p>5 市民の暮らしと経済、農業を壊す T P P について</p> <p>(1) 例外が認められない関税撤廃が見えてきた今こそ、市として直接 T P P 交渉からの離脱を国に求めること</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	10	1 番 石 井 聡 美	<p>1 マンガ文化のまちづくり推進について</p> <p>(1) 吉備国際大学にアニメーション文化学部が設置されることにあわせて、これまで市が取り組んできたマンガ文化のまちづくりを大学と連携して推進していくための調査研究を行う予算が平成 26 年度の一般会計に計上されている。漫画、アニメなどのコンテンツには、文化、教育、産業、観光などさまざまな側面からのアプローチが考えられる。市の考える方向性を問う</p> <p>(2) 大学で人材教育を行っても、地域にその受け皿がなければ人は集まりにくいし、人材も流出してしまう。漫画やアニメを産業として捉え、高梁市の雇用拡大につなげていくべきではないか</p> <p>(3) 大学の人材だけではなく、広く全国から高梁市で仕事をしたいという人を募るためにも、その拠点となる施設や組織、クリエイター支援のための制度を整えるべきではないか</p> <p>2 起業支援について</p> <p>(1) 3DプリンターやNCルーター、レーザーカッター、プログラムミシンなど、個人で購入するのが大変な機器を集め、それらを使ったものづくりを支援する施設が全国的に数多く設立されている。高梁市でも市内の素材や人材、アイデアを使った新産業創出の拠点を整備できないか</p>
6	2	16 番 川 上 博 司	<p>1 駅前図書館について</p> <p>(1) 駅前図書館の運営体制、開館時間、休館日について</p> <p>(2) 雑誌スポンサー制度の導入について</p> <p>(3) 読書通帳を導入し読書意欲を高める取り組みについて</p> <p>2 臨時給付金の支給準備について</p> <p>(1) 低所得者向けの臨時福祉給付金は、どのように通知して支給していくのか</p> <p>(2) 子育て世帯向けの臨時特例給付金は、どのように通知して支給していくのか</p> <p>3 自治体主体の資金調達について</p> <p>(1) 自治体主体のクラウドファンディングによる資金調達に取り組んでいくべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	5	15 番 宮 田 公 人	<p>1 旧高梁市における地域公共交通総合連携計画の実施状況について</p> <p>(1) 巨瀬、川面、中井地域の公共交通再編計画の現況と今後のスケジュールを確認する</p> <p>(2) 旧高梁市において、再編計画が実施されていない地域について、今後の取り組み方針の説明を求める</p> <p>(3) 平成 26 年度が地域公共交通総合連携計画の最終年度となるが新計画の策定方針の説明を求める</p> <p>2 高梁市における子ども・子育て支援施策について</p> <p>(1) 子ども・子育て支援法の公布に伴い、子ども・子育て支援事業計画の策定が義務づけられているが、現況と今後のスケジュールを確認する</p> <p>(2) 保護者へのアンケート調査など現況の把握はどのように行うのか説明を求める</p> <p>(3) 幼稚園、保育園を利用する保護者の実質的な費用負担はどのように変化するのか説明を求める</p> <p>(4) 幼保一体化の推進により、教諭、保育士の処遇、勤務状況はどのように変化するのか説明を求める</p> <p>(5) 高梁幼稚園、高梁南幼稚園、高梁保育園は、幼保連携型認定子ども園への移行が計画されているが、少人数の郡部の幼稚園や保育園はどのように再編していくのか説明を求める</p> <p>(6) 学童保育も高梁市における子育て支援の一翼を担っているが、今後どのように位置づけていくのか説明を求める</p> <p>3 図書館建設について</p> <p>(1) 財政のみに特化して考えた場合、建設コスト、建設後のランニングコストについて、候補地 2 案のどちらにメリットがあるのか計数的な説明を求める</p> <p>(2) 移動図書の搬出搬入や書庫の設置について明快な回答を求める</p> <p>(3) 高梁幼稚園跡地に有終館復元の検討が示唆されているが、図書館建設との整合性について説明を求める</p> <p>4 総合計画の策定と財政的な裏づけについて</p> <p>(1) 平成 26 年度は総合計画の後期計画の策定年度であるが、「高梁市都市グランドデザイン」の中には、未確定の幼保連携型認定子ども園の建設位置や、有終館の建設など上位計画を飛び越えたような内容が記載されている。「高梁市都市グランドデザイン」と総合計画の位置づけについて説明を求める</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	5	15 番 宮 田 公 人	<p>(2) 駅前開発、成羽高等学校跡地活用、幼保一体化による園舎の建設、「ゆ・ら・ら」跡地問題など多くのハード事業を抱えているが本当に実施できるのか。今後の高梁市の財政見通しの説明を求める</p> <p>(3) 人口減少が著しい本市にあつて、公共施設を建設することよりも、人口減少と少子・高齢化で疲弊する郡部の現況を直視し、お互いの支え合いをサポートする市民生活を重視したソフト施策や財政出動が喫緊の課題だと考える。後期計画策定に当たっての見解を問う</p>
8	6	6 番 内 田 大 治	<p>1 農業振興地域制度について</p> <p>(1) 本制度は、国の農用地等の確保に関する基本方針により、昭和 47 年より旧市町単位で取り組み、現在に至っている。経済事情、情勢も大きく変化している現在、農用地利用計画の総合的な見直しに取り組むべきではないか</p> <p>2 各地域局について</p> <p>(1) 各地域局施設の整備について</p> <p>① 地域における行政の拠点、そして重要な施設である地域局の施設は、合併前と同様に維持管理されている。施設整備については、どのように認識しているのか。また、今後の方向性を示すべきではないか</p> <p>(2) 局長調整費について</p> <p>① 局長調整費の事業効果について、どのように認識しているのか</p> <p>② 地域調整費事務取扱要領（取扱内規）により、運用に支障があるのではないか</p> <p>3 平成 26 年度予算について</p> <p>(1) いきいき外出支援事業について</p> <p>① 昨年度の実績及び事業効果について、どのように認識しているのか</p> <p>② 高梁、有漢地域に限定しているが、市内全域を対象とすべきではないか</p> <p>(2) 小・中学校へのエアコン設置について</p> <p>① 補正予算で小学校 3 校、中学校 2 校の普通教室にエアコンの設置が決定した。他の小・中学校への設置はどのように考えているのか</p> <p>② 教育の平等の観点から、保育園、幼稚園も含めて、市内全校園に対応すべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	11	3番 石 田 芳 生	<p>1 空き家対策について</p> <p>(1) 平成 26 年度新規事業として、老朽危険空き家除却事業が行われるが、所有者に本事業を周知するためにどのような工夫を行うのか</p> <p>(2) 所有者や相続人不明の不動産への対応はどうするのか</p> <p>2 地酒を用いた産業振興施策及び観光施策について</p> <p>(1) 昨年 12 月議会で制定された「高梁市産の清酒の普及促進に関する条例」は、市民、事業者、市の役割は努力義務にとどまるものではあるが、市民や事業者から具体的な事業提案がある場合には、市としてもできるだけ応えていくべきではないか</p> <p>(2) 酒蔵は、かつて地酒をつくっていた場所であるだけにとどまらず、郷土の歴史を知り、また観光拠点であるので、観光アクションプランでも地酒や酒蔵の積極的な活用を考えるべきではないか</p> <p>3 学校園の施設整備について</p> <p>(1) 学校園の遊具が少なく、公園の遊具も老朽化すると更新をすることなく撤去されている。体力向上だけでなく、規則正しい生活をするためにも日中の外遊びは必要不可欠なものとする。遊具の設置が困難であれば、校庭の芝生化により子どもたちの遊び場の整備を進めてはどうか</p> <p>(2) 2 月臨時議会で、市内の小・中学校に空調設備が整備されることとなったが、教育活動や学校運営に関してどのような効果が見込めるのか。反対に、児童・生徒が屋外で遊ばなくなるのではないかと懸念もあるが、どのように対処するのか</p> <p>(3) 公教育である以上、教育環境整備は公平に行うべきと考えるが、今後、幼稚園、保育園、小・中学校、高等学校への空調設備の整備方針や計画はどうなっているのか。また、空調設備が整備されるまでの間の対策はどのように考えているのか</p> <p>4 全国学力・学習状況調査結果について</p> <p>(1) 平成 25 年度全国学力・学習状況調査の結果について、どのように検証したのか。また、今後どのように生かしていくのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	7	7 番 宮 田 好 夫	<p>1 新総合計画後期計画策定に当たって</p> <p>(1) 平成 26 年度で総合計画の前期計画が終了するとともに、平成 27 年度からの後期計画が検討される。大型事業が市街地で進められる中、周辺地域は置かれていくのではないかという不安の声もある。後期計画を策定するに当たって、地域の声も生かすため、旧町単位のまちづくり協議会との意見交換はもちろん、旧高梁市の各地域にも出向き、意見や提案を受ける場も設定すべきではないか</p> <p>2 天然芝グラウンドについて</p> <p>(1) FC吉備国際大学シャルムが、なでしこリーグに昇格したことから、「ホームゲームが開催できるグラウンドを」という要望書が出され、市も前向きに検討するとの方向性が示されている。天然芝のサッカー場に反対するものではないが、その建設目的は神原スポーツ公園の施設の充実とし、施設の維持管理や利用率などを考えれば、今ある陸上競技場を改修するのがよいのではないか</p> <p>3 高梁市健康増進施設朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について</p> <p>(1) 12 月定例会で副市長は、「ゆ・ら・ら」の活用について民間事業者から提案を受け、具体的な協議を進めていることを明らかにした。しかし、1 月 27 日の全員協議会で、市の意向と業者の意向が合わず協議がまとまらなかったとの報告があった。活用方法を模索する中で、民間への売却なども含め、市税を投入しない形で検討すべきと考えるが、市はどのような考え方をしているのか</p> <p>4 市道改良について</p> <p>(1) 市道田井落合線については改良が進んでいるが、下秋町から肉谷の間は未改良である。以前から改良要望があり、昨年にも地元住民から要望書が再度出されている。この市道は国道のバイパスとしても利用があり、早期の改良が必要と思うが市の対応はどうか</p>
11	8	2 番 石 部 誠	<p>1 国保税の引き上げについて問う</p> <p>(1) 不景気、消費税増税、年金の削減が市内の国保世帯にどのような影響を及ぼすと考えているか</p> <p>(2) 県下での一元化はどこまで進み、高梁市民へはどのような影響を及ぼすのか</p> <p>(3) 国保税の引き上げは、国保世帯に大きな負担を強いるもので、むしろ引き下げるべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
11	8	2番 石 部 誠	<p>2 介護保険の見直しについて問う</p> <p>(1) 見直しで介護保険から外れることで、高梁市民へどのような影響が及ぼされるのか</p> <p>(2) 軽度と認定され、介護保険から支援が受けられない方たちへの今後の支援はどうなるのか</p> <p>(3) これまでどおりのサービスを行おうとすれば、市の援助が必要と考えるがどうか</p> <p>3 高梁市合併10年の総括と今後について問う</p> <p>(1) 合併の総括はできているのか。また、どのように行うのか</p> <p>(2) 合併によって市民の暮らしはどのように変わり、良かったこと、遅れていることは何か</p> <p>(3) 市民アンケート、地域懇談会、合併協議に携わった方との懇談会を開催し、総括と今後について意見を聞いたらどうか</p> <p>(4) 過疎化が進む周辺部への支援はどのように考えているのか</p> <p>(5) 地域局職員の増員と、成羽地域局、川上地域局の建てかえ、東部土木事務所の開設、消防署東分駐所の開設の計画はあるのか</p>